

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	プレイヤーコースギター専攻
授業科目	専攻実技4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	篠崎保
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン、プロデューサー、レコーディングエンジニア、音源制作
授業概要	各人の個性を伸ばす実技レッスンです。
到達目標	「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。
授業方法	基本は少数人数での個人レッスン形式で、全体ディスカッションも適宜採用し、基礎的必須技術を発展させ、表現力のある演奏の習得を中心に進行する。
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	譜面、音源、映像等適宜用意。 ギター、チューナー、シールド、ピック等の楽器や必需品を各自用意。 カポタストと替えの弦は必ずギターケースに入れておくこと。

授業計画	
第1回	前期復習。
第2回	指板上のインターバルを理解する。テンションコードの押さえ方
第3回	ジャズやボサノヴァ系の演奏
第4回	ルートを省いたコード演奏
第5回	大音量でのフィードバック奏法と宅録時での再現について
第6回	作品制作 1 曲目その 1。アドバイスと技術説明。 ※作品：ギター練習に特化したものか、曲としての物かは各個人の思考やレベルに寄る。
第7回	1 曲目その 2。
第8回	作品制作 2 曲目その 1。アドバイスと技術説明。
第9回	2 曲目その 2。
第10回	作品制作 3 曲目その 1。アドバイスと技術説明。
第11回	3 曲目その 2。
第12回	作品制作 4 曲目その 1。アドバイスと技術説明。
第13回	4 曲目その 2。
第14回	発表とデモンストレーション演奏。曲の解説
第15回	総括 2。今までの作品と技術の確認。

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	プレイヤーコースベース専攻
授業科目	専攻実技4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	高野清宗
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター
授業概要	各人の個性を伸ばす実技レッスンです。
到達目標	ベース演奏を軸とした「卒業作品」の制作スキルを体得することを到達目標とするが、発表方法は4種（ビジネスプランに付随したデモ作品、RealDreamsイベント、企業との共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、目標を達成してゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込めるということが最上位目標となる。
授業方法	楽器のチューニング、ウォーミングアップ等の準備をしたうえで、練習フレーズでのスキルアップ、読譜による既存ベースラインの習得と初見演奏の訓練、リードシートを見てオリジナルのベースライン作り等をおこなう。授業外で作成した自作曲のブラッシュアップ、アンサンブル授業やショーケースでの担当曲の演奏アドバイス、自主的なバンド活動等における演奏のアドバイスもおこなう。
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。

授業計画	
第1回	講師指定のコード進行でウォーキングラインを作る。
第2回	イーブン16ビートの様々なパターンでリズムトレーニング。
第3回	16ビートシャッフルの様々なパターンでリズムトレーニング。
第4回	難易度の高いスケール（hmp5↓、オルタード等）の習得。
第5回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その1。ルートを中心としたアプローチ。
第6回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その2。スケールを活用したアプローチ。
第7回	授業内理解度チェック。
第8回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその3。
第9回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその4。
第10回	循環コードにおけるアドリブ演奏によるベースソロ。
第11回	レコーディング実習その1。奏法の違いによるアプローチ。
第12回	レコーディング実習その2。ニュアンスを重視したアプローチ。
第13回	レコーディング実習における各自の問題点の修正。
第14回	授業内発表。
第15回	後期のまとめ。

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	プレイヤーコースドラム専攻
授業科目	専攻実技4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	堀越、Gaku
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン
授業概要	各人の個性を伸ばす実技レッスンです。
到達目標	「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。
授業方法	授業は練習パッド、ドラムセットを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方を持ち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	配布プリント、講師作成リードシート、ドラムスティックは各自で用意すること

授業計画	
第1回	ヒヤリングし疑問点の解消と各自目標設定とスケジュールの確立
第2回	初見譜面で演奏をする
第3回	初見譜面で演奏をする その2
第4回	曲のストーリーをドラムアレンジで考える
第5回	同機機材の紹介、同機演奏実習
第6回	いろいろなビートやクリックに合わせて演奏する
第7回	オリジナル作品をマイナスワンで演奏する
第8回	中間発表 理解度チェック
第9回	ドラムソロ曲紹介と演奏
第10回	ドラムソロの作り方
第11回	曲に合わせてドラムソロを演奏する
第12回	ドラムが主役のオリジナル曲をマイナスワンで演奏する
第13回	レコーディングに向けての準備機材紹介
第14回	レコーディング 発表 撮影し世界へ向けて発表できる素材を作る
第15回	後期まとめ

学科名	ミュージックアーティスト科
コース名	プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻
授業科目	専攻実技4
必選	選
年次	2年次
実施時期	後期
種別	実習
時間数	30
単位数	1
担当教員	田中綾美
実務経験	有
実務経験職種	ミュージシャン
授業概要	各人の個性を伸ばす実技レッスンです。
到達目標	「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、 4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。
授業方法	授業は一人一台キーボードを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。
成績評価方法	試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)
履修上の注意	専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。
教科書・教材	配布プリント、講師作成リードシート

授業計画	
第1回	マイプロジェクトに合わせた授業（アンサンブルにおいて留意する点の考察）
第2回	マイプロジェクトに合わせた授業（スムーズにアンサンブル演奏をアップグレードしていく為に必要な点を学ぶ）
第3回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その1）
第4回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その2）
第5回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その1）
第6回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その2）
第7回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その1
第8回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その2
第9回	マイプロジェクトに合わせた授業（パフォーマンスについての考察）
第10回	マイプロジェクトに合わせた授業（衣装についての考察）
第11回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その1）
第12回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その2）
第13回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その3）
第14回	まとめ 1
第15回	まとめ 2